

このリストは、^{としょかん}図書館の^{しよくいん}職員が、^{ねんせい}3・4年生のみなさんに
読んでほしい本を選んだものです。

しながわ^{としょかん}品川図書館 ^{きたしながわ}北品川 2-3-2-3 ☎3471-4667

ふたば^{としょかん}二葉図書館 ^{ふたば}二葉 1-4-2-5 ☎3782-2036

えばら^{としょかん}荏原図書館 ^{なかのぶ}中延 1-9-1-5 ☎3784-2557

みなみ^{おおいとしょかん}南大井図書館 ^{みなみおおい}南大井 3-7-1-3 ☎3761-6780

げんじ^{まえとしょかん}源氏前図書館 ^{なかのぶ}中延 4-1-4-1-7 ☎3781-6273

ゆたか^{としょかん}ゆたか図書館 ^{ゆたかちょう}豊町 1-1-7-7 ☎3785-6677

おおい^{としょかん}大井図書館 ^{おおい}大井 5-1-9-1-4 ☎3777-7151

ごたんだ^{としょかん}五反田図書館 ^{にしごたんだ}西五反田 6-5-1 ☎3492-2131

おおさき^{としょかん}大崎図書館 ^{おおさき}大崎 2-4-8 ☎3495-0660

やしお^{としょかん}八潮図書館 ^{やしお}八潮 5-1-0-2-7 ☎3799-1414

^{きゅうかんび}休館日、^{かいかんじかん}開館時間などは、^{かくとしょかん}各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、^{ひょうしえしやう}各出版社の^{かくしゅつぽんしや}許諾を得ています。

2013.10発行 ^{ほっこう}

よんでみたいな！

^{ねんせい}3・4年生



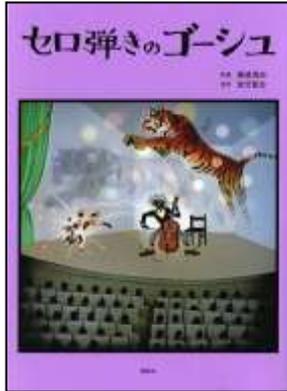
『マドレーヌはちい小さなめい名コック』

ルパート・キングフィッシャー ^{さく}作
三原 泉 ^{いづみ} 説 ^{きく} つつみ ^{あれい} 絵
徳間書店 ^{とくまに}

しながわくりつとしょかん
品川区立図書館

『セロ弾きのゴーシュ』

藤城 清治 影絵 宮沢 賢治 原作
講談社



ゴーシュは、町の音楽団で、セロをひいていた。10日後のえんそうかいに向け、みんなで練習のまっさいちゅう。でもゴーシュは、いちばん下手なので、学長からおこられてばかり。

いっしょうけんめい練習をしていると、ネコがやってきて、「えんそうしてください」とたのむ。ところが、ゴーシュがもうれつないきおいで“インドのとらがり”という曲をひいたものだから…。

『うちはお人形の修理屋さん』

ヨナ・ゼルディス・マクドノー 作
おびか ゆうこ 訳 杉浦 さやか 絵
徳間書店



アナは9さいの女の子。パパがあずかっている、修理をまつお人形に、名前をつけてあそぶのが楽しみです。

戦争がはじまり、パパはお人形の修理屋さんをしめることになってしまいます。

仕事をなくした家族のため、アナはなにが手伝えないかとアイデアをだします。そのアイデアとは？

『落語絵本 みょうがやど』

川端 誠 作
クレヨンハウス

みょうがってしってる？

昔から、「みょうがをたべすぎると、ものわすれをする」といわれているんです。

ある日、その話をきいた宿屋の夫婦が、悪だくみを考えました。客にみょうがを食べさせてわすれものをさせ、もらってしまおうというのです。

そんな悪だくみが、うまくいくのでしょうか？

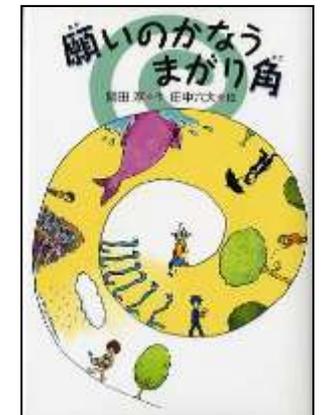


『願いのかなうまがり角』

岡田 淳 作 田中 六大 絵
偕成社

おじいちゃんは、まがり角をとおるとき、かならず、まじめなかおになる。それは、「願いのかなうまがり角」かもしれないと思うからだ。ぼくはおじいちゃんから、わかいころと、こどものころの、願いがかなった話をきいた。ほんまやろか？

おじいちゃんが、ぼくにだけ話してくれた、ほんとうのような、そうでないような話が7つ入っています。



『おいっちに おいっちに』

トミー・デ・パオラ 作 みらい なな 訳
童話屋



だいすきなおじいちゃんが のうの 病気で
入院した。帰ってくると ぼくのことをわから
なくなっていた。とうさんのことも、かあさん
のことも なにもかも。

だけど、ぼくが話しかけると おじいちゃん
の目は きらりとひかることがあった。

きっと 心のどこかで おぼえてるんだ！

『ピーターサンドさんのねこ』

ルイス・スロボドキン 作 清水 眞砂子 訳
あすなろ書房



ピーターサンドさんは、ホテル島で、数え
きれないくらいの たくさんのおねこたちと、
いっしょにくらしていました。そして、べっ
そうのひとたちにも、ねこをかせてあげてい
ました。

ところが、ある夏のこと、ピーターサンド
さんは、足に、けがをして入院することにな
ってしまいました。ねこたちに、だれがえさ
をあげてくれるのでしょうか？

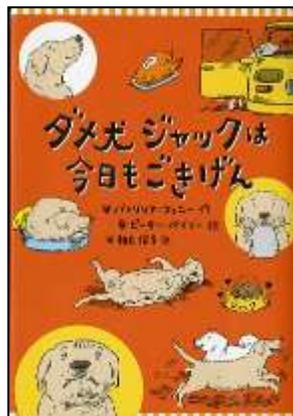
『ダメ犬ジャックは 今日もごきげん』

パトリシア・フィニー 作 ピーター・ベイリー 絵
相良 倫子 訳
徳間書店

ジャックはいつも元気なラブラドル・レ
トリバーのオス犬。だけど元気すぎて どじ
ばっかり。

となりにひっこしてきた、かわいいメス犬
となかよくなりたいたいんだけど、なかなかう
まくいかない。

ある日、ボス（パパ）が大ピンチに。
いつもしっぱいばかりのジャックだが、
ボスをたすけられるだろうか。



『おかしなゆき ふしぎなおおり』

かたひら たかし 写真・文
片平 孝 写真・文
ポプラ社

雪がふったあとに ふしぎなかたちが
できあがるよ。

どんなかたちがあるのかな？

ソフトクリームのおうし、アイスモン
スター、おおりのシャンデリア・・・

冬がきて、寒くなったら、はやくさがし
てみたいな。



『夜明けの落語』

みうら かれん 作 大島 妙子 絵
講談社



人と話すときは いつもきんちょうして、
おどおどしてしまう暁音。しかし落語との
出会いが、暁音を変えはじめる。

クラスみんなの前で落語をひろうした
「三島くん」。人前で堂々と話す姿や、落語の
面白さに引き込まれ、弟子入りをすることに。

暁音は苦手をこくふくし、落語で笑いを伝
えることができるのか！？

『マドレーヌは小さな名コック』

ルパート・キングフィッシャー 作 三原 泉 訳
つつみ あれい 絵
徳間書店



しんせきのおじさんのレストランで働く
マドレーヌ。買出し中に不思議な食品店を
見つけます。

お店の中は珍しい食べ物ばかり。変わって
いるけど、味は最高。

買ってきたペーストをレストランで出す
と、たちまち大人気に！

マドレーヌは、ペーストのレシピを盗んで
くるよう、おじさんに命令されますが…。

『グリムの昔話 くまの皮をきた男』

フェリクス・ホフマン 絵 佐々 梨代子/野村 滋 訳
こぐま社

あるとき、若者が、あくまと出あって、取
りひきをした。

「7年間、からだをあらわず、ひげもかみも
つめもきらず、いのりもせず、ぶじにすご
せたら、金持ちにしてやろう。」

そうして、くまの皮をきせられた男は、
たびをしながら、ばけものどうぜんになって
いった。人間にこわがられた若者は、本当に
金持ちになれるのだろうか？



『熱帯雨林のコレクション』

横塚 真己人 写真・文
フレーベル館

熱帯雨林には、地球にすむ生きものの半分
以上がくらしているんだって！

カブトムシ、クワガタムシ、かくれんぼ名人
の虫もいるよ。

たくさんの植物や生きものが、たすけあっ
て生きている熱帯雨林。

だけど、ぼくたちの生活がその森をこわして
いるらしいんだ。どうということだろう？

